

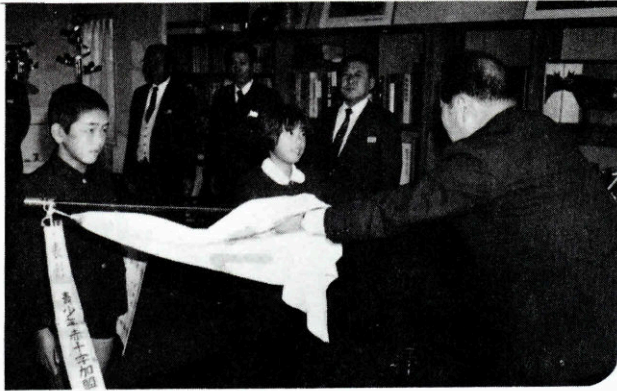
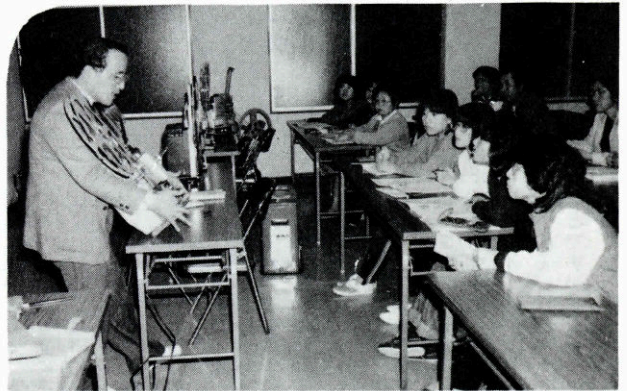
# フォト・ルポ

## ◀これからもがんばります

12月12日、青少年赤十字再建35周年記念全国大会において表彰された川尻小学校に、感謝状、有功章の伝達式が役場において行われた。これは、川尻小学校が青少年赤十字加盟継続10年を越え、赤十字の思想・活動の意義を学習し、赤十字奉仕活動や児童会による助けあいの募金活動等を行ってきたことによるものです。

11月28・29・30日、山口県視聴覚センター主催による映写技術講習会および検定試験が、中央公民館において行われた。これは、学習活動の効果を高めるのに利用される16ミリ映写機の使用者を養成するために開かれたもので、町内から24人の参加があり、最終日には検定試験があり全員が合格した。

## ▼真剣なまなざし



11月26日～12月2日までの秋の火災予防運動にちなんで、11月29日、大浦保育所、12月2日、久津保育所において、長門消防署主催による親子消防のつどいが行われた。これには、防火パレード等があり、街頭の人たちに火災予防を呼びかけた。

## ▲あゝ重いな!!

# 油谷町の昔話

## 狼がついた話

後畑老人クラブ

後畑の、田中屋の娘が、一の俣へ嫁に行きました。婚家で問題が起こったので、田中屋の主人が一の俣の娘の家へ行きました。話が済んで帰りのことです。

あの峠を越したら、もうすぐ我が家に近いところまで帰りましたが、あたりは

だんだん暗くなり、日はとっぷり暮れてしまいました。ところが狼が現れました。か

みつかれたら大変と思うと、急に恐ろしくなりました。そ

れでも、勇気をふるい起こして、恐る恐る「おれア、今

からこの峠を越して、帰らにヤア」ならんそじゃが、お前

おれの番について来てくれんかア」と頼みますと、狼は、

後になり先になり、護衛しながらついて来たのです。やっ

とのこと、我が家に着きますと、田中屋の主人は、裏口から

急いでわが家に入りました。頼まれてついでにきた狼は、普

通の人は、我が家に帰りますと、庭の口（表の入口）から

家に入り、足を洗って、その水を外に捨てたものですが、田中屋の主人は裏口から入り足を洗った水も捨てないし、「何かの用事でこの家に立ち寄ったのであろう。」と思いき縁の下に入って、じっと待っておりました。

朝になって、家の人が外に出てみると、縁の下に狼が寝ていたので、叩き殺してしまいました。そして、死骸を村田の島の端の松の木の下に埋めました。ところが、それから狼がついて、田中屋の人は皆、気が変になりました。

その松の木は、後に往還松になりましたが、狼の祟りを恐れて、誰もその松の落葉や、枯枝を薪にする者は、おりませんでした。

